

2月定例記者会見 会見録

2月1日(木)11:00～

## 質疑応答

### ■SDGs フォーラム

**記者** つくば SDGs フォーラムは、初めての開催でしょうか？それと SDGs 聞き慣れないんですけども、もうちょっと分かりやすく、簡単にいうと、こういったフォーラムなんですか？

**市長** 初めての開催です。SDGs とは、Sustainable Development Goals の略で、SDGs というんですけども、耳慣れないのも確かで、おそらく、日本でこういうことが言われるようになったのは、この1年くらい。急速に注目を浴びていまして、国連で定められたものなのですが、持続可能な開発目標といった、持続可能というのは単に環境問題等にとどまらず、17のゴールを広く世界で共有して解決していこうということで、貧困を無くそうですか、飢餓をゼロにしていこうというゴールが掲げられています。お配りしたチラシの中に入っていると思いますので、それを見ていただくと、様々な視点から、包括的なゴールだったりして、2030年を目標にして行こうということに取り組んでいる。私が入りたいと思ったのは、私がそもそも掲げている価値観であったり、親和性の高いものなんですね。それを各国が取り組むことですが、自治体の政策指標や枠組みの中にこういった指標を入れていくことで、逆に言えば長期的に見てもつくばの取り組みをよその自治体や国に展開していくほどの指標になるのではないかと。我々は、ある種のグローバルな標準をもって仕事をしていこうということに取り組んでいる。もちろん、SDGs が万能とは思っておりませんし、SDGs に対する批判もあることは確かです。まずは、このようなゴールを持って取り組みを第一歩としたいと思って今回、フォーラムを開催することになりました。

### ■市民参加の推進に関する指針

**記者** 市民参加の推進に関する指針みたいなものが作られるということなんですが、具体的にはどうやって市民参加を促すのか？例えば、何人くらい公募をするのか？

**市長** 詳細は担当からお話しをしますが、基本的に今回、市民参加の推進に関する指針で定めたのは、2つ、2ページ目に書いてあります。直接的な市政への参加と主体的にまちづくりに取り組む、両方とも市民参加といわれますが、今回の指針で定めたのは、直接的に市政に参加するという部分でして、これを4段階に分けている。その中で一つは、4ページを見ていただくと分かりやすいのですが、まずは、共有理解、その後、企画・立案、計画という段階があって、実行という段階があって、評価、検証。それぞれの場面において、市民が参加する機会をしっかりと指針の中に定め

て担保していこうと思います。何となく公募することもあればしないこともあるというのではなく、きちんと指針を定めた上で、あらゆる場面において市民の参加を進めていこうと思います。ただ、人数等は、それぞれの審議会の内容等によっても違って来るでしょうし、形によっても違うでしょうし、あるいは、最近の形でいうとアイデアソンという形で、市民からまちづくりのアイデアを多くの中を出し合うような現状がありますので、そういう数値目標を定めているわけではありませんが、様々な手段を使って市民参加を使っていこうという指針です。

**企画経営課長** 今回、指針と共に要綱についてもパブリックコメントをいただく予定です。お手元に要綱をお配りしていますが、市民委員は6条の中に概ね3割を目途とするとして規定しております。その他、8条に選任の留意事項として附属機関又は、懇談会に再任する場合は、連続2期又は2か年。併任する場合は、2つまでとするという数値も入れてあります。

**記者** 具体的に概ね3割程度審議会の委員を目途とするという目標とか、再任の場合は連続2期又は2年までということなのですが、こういう基準を達してないものというのは、審議会ではどれくらいあって、どれくらいが達成できてないんですか？

**企画経営課長** 現在のところ、市民公募というものは、今回初めて要綱で明文化いたしますので、これまで3割とかの基準を市では、定めてございませんでした。ですので、今回初めて、3割という基準を示すものでございます。8条にある連続する場合や、併任する場合の基準も全くございませんでしたので、初めての規定ということになります。

**市長** 現状で3割超えているというものはありますか？

**企画経営課長** 現状では、市民公募という形をこれまでありませんでしたので、3割超えているというものは、私が把握してる中では1つ、2つくらいかと思います。今回、行政経営懇談会では3割ということで市民公募いたしておりますが、なかなか3割というところまでは達していないのかなというところではあります。

**記者** SGDのフォームに関してなんですが、SGDは百何十項目という目標規定が定められてると思いますが、市としても目標を定めたり、実情性の事業で規定を定めたりはしてるのでしょうか？

**市長** はい、169のターゲットがありますので、それを個別の政策とひも付けていくかという調整を今、担当課にしてもらっているところです。かなり、詳細な良いものができると思っています。

**記者** いつくらいまでに、目標はあるのでしょうか？

**市長** 時期は、いつ頃まとまりますか？

**政策イノベーション部長** 時期につきましては、できれば次年度から行う予定の戦略プランの改定の中で、参考資料として使っていきたいと思っております。改定作業を進めるときまでには、データが出てくるのかなと考えています。

**記者** では、来年度の早い時期にはみたいなそういうのでよろしいですか？

**政策イノベーション部長** はい。

**記者** 市民参加についてお伺いしたいのですけれど、改まって明文化するのは、なぜ今されたのかな、ということをお聞きしたい。

**市長** はい。指示を出したのは、着任して早い段階でこういうものが必要だろうということで、結局、市民の声を聞かずにいると、運動公園に象徴されるように、民意とかけ離れて行くと思います。それは恐らく、市政を長くしていけば行くほど、市民との接点が少なくなってくれば、どんどん離れていくだろうと思います。であれば、制度としてこういうものを担保することによって、市民との距離をある意味必ず取れるような、近い距離にいられるような担保としての役割は絶対に必要だろうなということで、都合の悪いことは市民を入れたくないな、ややこしい案件だから内部でこそこそとやっちゃおう、なんていうことをしているうちに、行政と民意というのは離れて行くと思いますので、やりづらいことであっても、難しい事であっても、市民が参加できるような仕組みをきちんと整えて行こう、そのことが結果としては、市民の知恵というのは非常に高いものがあると思っていますので、行政を良い方向に進める方に確実になると思っていますし、行政だけで築けないことであったり、現場の声だったりを反映できる市政にしていきたい。非常に重要な位置づけをしています。

**記者** 総合運動公園の問題を受けてこういう明文化したということですか？

**市長** 一つのきっかけではありますが、他の政策分野においても市民の声が届いていないという事は、本当に痛感してきましたので、運動公園問題というのは、結果、当然の帰結として起きたのだらうという、その前から、そのようになってしまいうであろう余地はあったんじゃないかという風に思っています。

**記者** ある意味、総合運動公園の問題がきっかけの一つとなって、このような明文化に至ったということですね。

**市長** はい。

**記者** 市民参加をこういった形で行うということは、非常に有効なことだと思うのですが、これまでのパブリックコメントを拝見していて非常に意見を応募される方が少ないこともありますし、そもそも、市側が情報発信に問題があるのではないかという気がするのですが、今後、情報発信を工夫されて行く予定などありますか？

**市長** はい、それが大きな課題になっていくと思っております。いろいろやっても、知らないという方が多いということがあるので、来年度に向けて広報の部分については、組織改正を強化していきたいと考えております。具体的なところは詰めているところですので、これからなんですけども、組織としても配置を手厚くして行きたいと思っていますし、いろんな形で専門家の力を借りなければならないと認識しています。

今日から新しいホームページになったということです。これもいろんなところからアドバイスをいただいて、またバージョンをどんどん上げて行きたいと思っています。良いものになっていると思いますので。

## ■SDGs フォーラム

**記者** 情報発信に関して、SDGs が一般の方に分かりにくいというのと、SDGs が日本にはあまり関係が無いのではないかと考えていらっしゃる方が多いのではないのでしょうかと思うのですが、こういったフォーラム以外に、そもそも、SDGs のような自分たちとは関係のあるもので、市独自で情報発信して行く予定はありますでしょうか？

**市長** 当然、SDGs をやるのが目的ではなく、その向こうにあるのは、都市の持続可能性ということだと思うんですね。つくば市が SDGs というものを一つのツールにして持続可能な都市を目指すという位置関係にあると思っただいていいかと。その意味で、いろんな場面で持続可能性とか持続可能なまちとはどのような物なのかという機会をつくっていきたいと思っております。一つの共通のフレームワークを SDGs として使いながら、理解を得ていきたいと思っておりますので、SDGs 自体についても機会があるときにでも説明していきたく思っていますし、「横文字だから分からないと言わないで」とは言い続けようかなと思っております。確かに世界的なことで直接日本にあるいはつくばに関係あるかな、ということもないことないですけども、海のものともかね、海ともつながっているわけですからいろんな形で。水を汚れたまま流さないとかいうレベルで言えば、自治体のレベルにも下りてくる話なので、そういったことを丁寧にも付けて説明していききたいなど。

**記者** こういう市民参加の指針、要綱を作るのは県内では例がないのですか？

**企画経営課長** 県内におきましても、市民参加については、市民協働と合わせて作っているところがあります。石岡市で条例化しています。取手市でもこういった基本方針は作っています。また、筑西市でも協働のまちづくりということで協働と市民参加を一緒にした形で方針等を作っているようです。要綱に関しても、かなり多くの自治体で市民公募に関しましては、作成している状況です。

**記者** 数値目標を決めているということですか？

**企画経営課長** 要綱の中に、大体の自治体で数値目標は入れてあります。

**記者** 数値目標を作っているというのは有効かと思うのですが、現時点でまちづくりに参加するといっても、市民がやるにしても、平日働いている方が参加するというのは難しいと思うのですね。参加するという方は大体、60代とか70代の非常に高度な知見はあるのだけでも現役ではない方が多くなるのではないのかなと思われるのが一つ。3割と公募を掲げたけど、実際公募が集まらない、あるいは、市議会議員の方が立候補されてやるってなったときに、結局、議員さんがやってるから、あまり実効

性があるのかという点で疑問なんです。例えば、議員さんは排除するとかは御考えですか？

**市長** はい、市議会議員はなれません。これは、要綱の 8 条に「つくば市職員及びつくば市議会議員は任命し、兼任しないこと」とあります。御指摘のように、会議を平日の日中というのは、現役の方は参加しにくい。行政職員が事務方をやることになる結局、土日になると、そうなる残業の問題も出てくる、時間外あるいは、バックグラウンド観点から悩ましい問題ではあるのですが。ただ、実際、私が就任してからかなりいろんなもので公募をかけてはいますけども、それなりに現役世代の方も来ていただいていたたり、会社を営営されている方だったり、主婦の方など、どうですかね？なんか、そんなに退職された方ばかりという印象を持っていないんですけど。

**企画経営課長** これまで公募をかけている中では、応募の人数はそれなりにクリアしています。今回懸念されました、公募で集まるかということなんです。今回、第 5 条に無作為抽出による候補者を登録するというので、事前に住民記録の中から無作為で抽出した方にこちらから通知を送りまして、市民委員になりますかと問いかけ、なる場合はどういったジャンルをやりたいですかという登録制をとろうと考えております。応募が無かった場合でも、そういった方に事前に通知を差し上げて市民委員になっていただくというような形も取ろうかと考えています。

**記者** 無作為に抽出した方でないと好き勝手に立候補してやるってものでもないのですか？

**企画経営課長** 基本は、公募ですので、まずはホームページであるとか広報紙の方にこういった懇話会であるとか、審議会がありますので公募しますということをお知らせします。その上で集まらなかった場合には、そういった手法もとれるということです。

## ■鳥獣対策

**記者** 今週の日曜日、1 月 28 日に沼田でイノシシが出没しまして、市内の 70 歳の男性と女性が襲われ、男性が右手親指を切断するという重傷を負ってしまいました。これに関しまして今後、小中学生にも危険があるのではないかと思うが、市の方でのこれまでの対策とこれからの対策、教育局の方で対策を考えていただきたいと思います。

**市長** 対応がこれまで全くされてこなかったことによって、ずっと懸念されてきたことが起こってしまった。これも就任後すぐ指示を出しまして、例えば、公約にもありましたが、捕獲の報奨金、あるいは、鳥獣被害の防止被害の策定をしまして、現在整えているところではあったのですが、結果として起きてしまいました。当日はすぐに学校へのメール等で注意喚起を流すと共に、防災無線で促す、防犯サポーターに

よる、パトロール等の実施をしました。その後、同じことを起こさないようにするための体制づくりをしてまして、関係機関あるいは、行政でも縦割りで対応してはいけませんから、このような場合にどのように組織として迅速に対応して行くかという、フレームワークを作っております、おおよそ案が一旦出てきていると思いますので、共用できるところまで、どうでしょうか？お願いします。

**生活環境部長** 29年度中、いろいろイノシシの被害情報が入りましたので、それに向けて緊急対策ですとか、措置はしてきました。先ほど市長からもありましたように、あってはならないことが起きてしまいましたので、こういった事態にどう対応するかということで環境課を中心に、警察、消防等と連携しまして、猟友会と共に発生した時にまず、イノシシを捕獲できるのかとか、そのところを詰めております。考えた方としては、猟友会に情報を提供して猟友会に回ってもらう。それで、見つけれれば捕獲する。見つけれない場合には、危険性がありますので、周知の方向を先ほど市長からもありましたように、学校、近くの商店、人が集まりやすいところ、幼稚園、保育園などに、またその現場の近くにチラシや注意喚起の看板を立てて、そこで生活する人たちに注意してもらうという方向で考えています。庁内対応としたしましては、防災無線等で情報提供したり、ホームページ・Twitterによる情報発信ですとか、教育局、こども部、観光客もいますので観光推進課などとセットで対応していきたいと考えております。方向性としては、危険性を周知する方向と原因を無くすための捕獲の2方向で今、体制を整えています。そのためには、外部機関、警察、消防、猟友会などと連携して進めていく予定でおります。

**教育長** 教育局でも対策を取らないとならないのではないかとということで、話し合いました。その時の情報では、イノシシは原則、昼は出てこないんだとか、子どもは襲わないのだとかという、そんなんでは駄目なんではないかとということで、イノシシの習性に詳しい人に情報提供してもらいながら、何らかの対応・対策を急いでしないといけないので考えているところです。

**記者** 教育長に質問なんですが、月曜日の朝から登下校の時に立しょう活動をしているということですが、これからも続けるのでしょうか？

**教育長** 教育委員会の方からそういった指示はしておりません。それぞれの学校が可能性を考えながら、自主的にやっつてることですね。そのことも含めて、なんらかの教育委員会としての対応策は考えたいと思っています。

## ■クレオ跡地

**記者** 昨日クレオが閉店しました。昨年12月以来同じような質問をしてしまっているのですが、いよいよ閉店となりますと、放っておくと資産価値がどんどん下落してしまうという印象を持っていますけども、市の対応でこれまでおっしゃってきたことと

状況が変わったこととかありますでしょうか？

**市長** 状況が大きく変わっているということは、特にないですね。引き続き、都市整備や庁内機関と協議をしながら、あらゆる可能性を探っている。先日、山崎アドバイザーが講演をしてくれましたけども、アドバイザーと相談をしながら進めて行きたいです。

**記者** 3月議会が控えています、その席に報告とか方向性を見いだせそうですか？

**市長** 時期的なものは、今の段階では申し上げられません。

## ■国民健康保険税

**記者** 県の方に要望に行かれて、来年度以降に協議するという事になったのですが、つくば市としては、平成30年度は負担が多くなるということですが、それを一般会計から増やすのか、加入者の負担ということになるのか、その辺の見通しや、どういう手続きで決めていくのかなど教えてください。

**市長** そもそも仮算定が出て、つくば市の負担が劇的に重くなっていましたので、算定方法がおかしい部分がありましたので、それは県に御指摘をしました。結果として仮算定の結果から約3億円ほど減額にはなったんですが、そういった要望活動を通じて新聞報道等が大きくされましたので、県内各地の自治体の長の皆さんから、一緒にやろうよと話を頂いているところです。2月6日に県庁で県主催で各自治体に対する説明会を行うことになりました。その中で様々な協議をされて行くのだろうと思ってますし、つくばが良ければ良いという話ではなくて、これは広域化で県が主体になるということは、県にしっかり責任を含めてしっかり果たして頂きたいと思えますし、それは各自治体でもいろいろ情報共有をしながら私どもが元々希望していたのが県内統一でしたから、速やかにそうなることを希望はしているところです。ただ、足りない部分についてどうするかと言うことは、いきなり全部増えた分を市民に負担させるということはやはり、重くなってしまいますので、どういう形で繰り入れをするか、当然これまでも繰り入れはしている部分でもありますが、それをどれくらい増やさなければいけないかというのは、今、議員の皆さん方と勉強会をしながら御意見を伺っている最中です。これについては、結論にいたっておりません。

**記者** 2月6日の説明会に市長は行かれるつもりはありますか？

**市長** 私自身は出席をしませんで、国民健康保険を担当している課で出席する、誰が出て良いようですが。

**記者** 他の自治体からも似たような意見があったという話でしたが、例えば、市長の皆さんでまとまって代案を出すとか要望するとかの御予定はありますか？

**市長** おそらく、そういう流れになるのではないかなとは思っていますが、これは、私が決めたりするものではなく、この間の市長会の際に本件が出まして、市長会の時に

県の保険担当の次長が説明に来ました。これは、市長会から要請をして来てもらい、その中で各市長さん方、いろいろ御意見をお持ちでしたので、再来年度に向けて様々な制度設計について意見を市長会としても言っていくことになるのであろうと思うのですが、まだ具体的な動きがあるわけではありません。